

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 5年 12月 15日

事業所名:放課後等デイサービスはちのじ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分に確保されている。	はい100% 心地よく過ごせる環境が整えられている。	一階部分を多目的スペースとして活用する事で大きな動きやイベント等おこなえている。
	2 職員の適切な配置	基準配置は満たしている。	はい92% 全員とお会いする機会がないので知らない方もいらっしゃる。	有資格者や経験者を配置しており今後増員予定。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ここに合わせた配慮がされている。	はい84% バリアフリーについては分かりかねるが我が子にとってはわかりやすい環境。	療育室にルーティン表、手洗い場やトイレ等に手順表等を貼ることで自ら考え行動できるよう配慮している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝の清掃と、活動終わりに児童たちの清掃等で気持ちよく使用できるようになっている。	はい100% 心地よく過ごせる環境が整えられている。	消毒液等を使用し今後も徹底していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	見通しの良い明るい職場作りができています。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていないが、今後検討していく。		今後、検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	日々の振り返りやケース会議などの際に改善策や対応の仕方等の意見交換ができる職場環境にある。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	可能な限りできている。	はい100% 子どものことを考え作成されており当事者、保護者への丁寧な寄り添いがある。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	可能な限りできている。	はい100% されている。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	可能な限りできている。	はい100% されている。	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	可能な限りできている。	はい100%	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	月ごとに担当スタッフを決め立案しスタッフ全員で話し合い行っている。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	可能な限りできている。	⑦はい100% 毎月、楽しそうな活動を企画して下さり事前に予定をお知らせして下さるので本人との会話に役立ったり楽しく通える要因となっている	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	可能な限りできている。		隔週で様々な活動を考え、どの曜日に利用されても等しくすべての活動に参加していたできるよう工夫している。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	可能な限りできている。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は送迎業務に入るため、翌日の午前中に行っている。		
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	1人1人の評価ノートを作成し、ご利用された日の様子や療育内容等で気が付いた内容などを誰でも書き込めるようになっている。		
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	出来ている。		
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	担当者会開催時間がちょうど療育の時間とかぶってしまう児発管のみの参加になることが多いが療育の時間外であれば主任と同行している。		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象児童の利用なし。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象児童の利用なし。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	意思はあるが学校サイドの門戸が固いのが現状。ご協力いただける機関とは情報共有できている。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	問い合わせがあれば可能な限り対応します。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携は取れている。研修に関しては開催時間が療育時間と重なるのであまり参加できていない。		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	意思はあるが先方との打ち合わせや、何より障害についての理解が必要となり、かなり難しい設問	はい32% コロナ禍で交流が難しい状況が続いているが、いつか実施されることを願っています。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	意思はあるが先方との打ち合わせや、何より障害についての理解が必要となり、かなり難しい設問		
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	可能な限りできている。	はい100%	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	可能な限りできている。	はい98% 説明、モニタリングもしっかりしてくれている。コロナ禍で面談が少ないのは残念。	対面の面談に関しては徐々に開始し始めている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	送迎時やご相談があった際、モニタリング時等に様々な助言やご提案等をさせて頂いている。	はい92% 親の視点からでは気が付かなかった特性やそれに対する対処法を具体的かつ分かりやすく教えてもらっている。	送迎時やご相談があった際、モニタリング時等に様々な助言やご提案をさせて頂いている。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	可能な限りできている。	はい100% 保護者以上の気づきがあり共有してくれ助かっている。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談があればすぐに対応できるよう体制を整える	はい100% 毎回の連絡帳だけでなく送迎の際にも助言等があり悩みが改善された。	ご相談があればすぐに対応できるよう体制を整えている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	開設して直ぐにコロナ禍となり現在まで開催できていない。	はい24% コロナ禍で開催が難しいことは理解しているが子どもがどのように過ごしているか見てみたい。現在、保護者会に参加する余裕がなく負担に感じるとも無い。	今後開催を検討していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情はないが、要望や希望は可能な限りの対応はさせて頂いている。個別の問題を全体に周知させることは難しいと考えている。	はい92%	苦情はないが、要望や希望は可能な限りの対応はさせて頂いている。個別の問題を全体に周知させることは難しいと考えている。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	可能な限りできている。	はい100%	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月行事お知らせのお便りを出している。	はい100% 子どもは行事予定表等を見て楽しみにしている。	毎月行事お知らせのお便りを出している。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	出来ている。	はい100%	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	「地震」「火事」「不審者」「洪水」を想定し避難訓練を行っている。	はい84% 都度適切に迅速に対応してくれている。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	「地震」「火事」「不審者」「洪水」を想定し避難訓練を行っている。	はい96%	
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	出来ている。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	出来ている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーで医師にかかっている対象児がいない。		
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	出来ている。		